プログラム

11月19日（木） 第1会場（3F：雲水峰）

9：00〜10：53　シンポジウム1「腫瘍免疫のメカニズム・腫瘍微小環境（基礎）」……14
11：10〜11：55　教育講演「信金マンの志〜城南信用金庫の挑戦〜」……15
12：25〜13：15　ランチョンセミナー1「切除不能進行再発胃癌に挑む―再発予測と腹膜播種治療―」……15
14：05〜14：25　会長講演「癌免疫とともに」……15
14：35〜15：45　特別講演1「革新的医療を患者に届けるための政策と社会実装
―研究開発から規制・保険・事業化まで―」……15
15：55〜17：20　シンポジウム2「免疫チェックポイント阻害薬の現在地（臨床）」……15

11月19日（木） 第2会場（3F：麓山）

9：00〜 9：32　一般演題1「消化器癌における新たな治療戦略」……17
9：37〜10：09　一般演題2「肺癌免疫療法の実臨床と治療効果予測」……17
10：22〜11：10　ワークショップ1「免疫治療―Translational research―」……18
11：30〜12：10　一般演題3「ICI時代の集学的治療戦略」……18
12：25〜13：15　ランチョンセミナー2「臨床試験から考察する周術期肺癌薬物療法戦略
〜術前術後ICIの意義とKN671レジメンのポジショニング〜」……19
15：35〜16：35　スポンサードシンポジウム1「肺癌免疫療法のCQと解決に向けた試み」……19
16：40〜17：20　一般演題4「がん研究・診療を拓く新たなアプローチ」……19

11月20日（金） 第1会場（3F：雲水峰）

8：30〜 9：10　一般演題5「腫瘍微小環境と抗腫瘍免疫」……21
9：20〜10：30　特別講演2「Unleashing the anti-tumor potential of B cells and tertiary
lymphoid structures for new immunotherapeutic strategies」……21
10：35〜11：07　一般演題6「免疫療法に伴うirAEとそのマネジメント」……21
11：20〜12：20　スポンサードシンポジウム2「EGFR遺伝子変異陽性非小細胞肺癌 最新の話題」……22
12：30〜13：20　ランチョンセミナー3「変わりゆくがん遺伝子パネル検査の活用法」……22
14：00〜14：43　シンポジウム3「細胞療法と次世代のバイオセラピィ」……22
14：50〜15：38　ワークショップ2「免疫療法におけるバイオマーカー最前線」……23

11月19日（木） 第1会場（郡山ビューホテル アネックス 3F 雲水峰）

9:00-10:53 シンポジウム1「腫瘍免疫のメカニズム・腫瘍微小環境（基礎）」

座長：田中 浩明（泉大津急性期メディカルセンター）
和田 聡（昭和医科大学臨床薬理研究所 臨床腫瘍診断学部門）

S1-1 腫瘍微小環境と全身免疫から読み解くがん免疫療法―単球・マクロファージの多様性と治療への展開―
（基調講演）

和田 聡（わだ さとし）、三沢 彩、大熊 遼太郎、鈴木 梨沙子、大西 伸幸、三上 貴浩、吉村 清、角田 卓也、堀池 篤、小林 真一

昭和医科大学臨床薬理研究所 臨床腫瘍診断学部門

S1-2 胃癌における免疫細胞 YAP 発現と予後の関連

松岡 浩平（まつおか こうへい）、三木 友一朗、山口 大輝、石館 武三、出口 惣大、関 由季、黒田 顕慈、笠島 裕明、吉井 真美、田村 達郎、渋谷 雅常、豊川 貴弘、前田 清

大阪公立大学大学院医学研究科 消化器外科学

S1-3 腫瘍浸潤好酸球からみた大腸癌の粘膜免疫環境保持とゲノム維持型腫瘍微小環境

梅田 一生（うめだ いっせい）[1)]、幕谷 悠介[1)]、波江野 真大[1)]、小林 由香里[2)]、長岡 孝治[2)]、伊藤 彰彦[3)]、垣見 和宏[2)]、川村 純一郎[1)]

[1)]近畿大学病院 外科
[2)]近畿大学病院 免疫学教室
[3)]近畿大学病院 病理学教室

S1-4 1細胞解析から解き明かす腫瘍微小環境

廣橋 良彦（ひろはし よしひこ）

札幌医科大学医学部病理学講座病態究理病理学分野

S1-5 非小細胞肺癌術前免疫化学療法症例における腫瘍局所および末梢血免疫環境の解析

尾崎 有紀（おざき ゆき）、龍福 雅恵、橋本 理奈、西尾 樹奈、蛭田 知宏、遠田 晶生、丸谷 慶将、猪俣 頌、峯 勇人、渡部 晶之、岡部 直行、鈴木 弘行

福島県立医科大学 医学部 呼吸器外科

S1-6 治療前生検組織における免疫マーカー発現解析による直腸癌術前化学療法の治療効果・予後予測

岡本 行平（おかもと こうへい）、藤野 紘貴、穴澤 貴行

札幌医科大学 外科学講座 消化器外科学分野

S1-7 周術期セファゾリンおよびPEG腸管前処置が抗PD-1抗体の抗腫瘍効果と腸内細菌叢・腫瘍免疫微小環境に及ぼす影響

吉村 清（よしむら きよし）[1)]、中島 理絵[1,3)]、田島 康平[1,3)]、磯部 順哉[4)]、市原 咲歌[1)]、船山 英治[1,5)]、馬場 勇太[1,5)]、志田 みどり[1)]、和田 聡[2,6)]、角田 卓也[2)]、堀池 篤[2)]、小柳 和夫[3)]、倉増 敦朗[1)]

[1)]昭和医科大学 臨床薬理研究所 臨床免疫腫瘍学部門
[2)]昭和医科大学医学部内科学講座腫瘍内科学部門
[3)]東海大学医学部消化器外科/小児外科
[4)]昭和医科大学薬学部病院薬剤学講座
[5)]昭和医科大学医学部薬理学講座医科薬理学部門
[6)]昭和医科大学臨床薬理研究所臨床腫瘍診断学部門

S1-8 腫瘍微小環境による肺扁平上皮癌表現型制御機構の探索

藤林 祐介（ふじばやし ゆうすけ）[1,2)]、小川 裕行[1,2)]、Ming-Sound Tsao[2,3)]、Kazuhiro Yasufuku[2,4)]、眞庭 謙昌[1)]

[1)]神戸大学医学部医学系研究科 外科学講座 呼吸器外科学分野
[2)]University Health Network, Canada
[3)]Department of Laboratory Medicine and Pathobiology, University of Toronto, Canada
[4)]Division of Thoracic Surgery, University of Toronto, Canada

11：10-11：55　教育講演

座長：鈴木 弘行（福島県立医科大学医学部　呼吸器外科学講座）

EL　**信金マンの志～城南信用金庫の挑戦～**

川本 恭治（かわもと きょうじ）

福島県立医科大学／城南信用金庫

12：25-13：15　ランチョンセミナー 1「切除不能進行再発胃癌に挑む―再発予測と腹膜播種治療―」

座長：河野 浩二（福島県立医科大学医学部　消化管外科学講座）

LS1-1　**外科医が挑む術後再発・転移の予測と制御**

萩 隆臣（はぎ たかおみ）

大阪大学大学院医学系研究科　消化器外科学

LS1-2　**腹膜播種を有する胃癌の治療戦略―現状と今後の課題―**

舛石 俊樹（ますいし としき）

愛知県がんセンター　薬物療法部

共催：小野薬品工業株式会社／ブリストル・マイヤーズ スクイブ株式会社

14：05-14：25　会長講演

座長：後藤 満一（地方独立行政法人大阪府立病院機構　大阪急性期・総合医療センター）

PL　**癌免疫とともに**

鈴木 弘行（すずき ひろゆき）

福島県立医科大学医学部　呼吸器外科学講座

14：35-15：45　特別講演 1

座長：岡部 直行（福島県立医科大学医学部　呼吸器外科学講座）

SL1　**革新的医療を患者に届けるための政策と社会実装―研究開発から規制・保険・事業化まで―**

南川 一夫（みなみかわ かずお）

独立行政法人国立病院機構本部

共催：福島県立医科大学地域集学的がん治療学研究講座

15：55-17：20　シンポジウム 2「免疫チェックポイント阻害薬の現在地（臨床）」

座長：竹之山 光広（松山赤十字病院　呼吸器センター）
山下 公大（神戸大学大学院　保健学研究科　病態解析学）

S2-1（基調講演）　**免疫チェックポイント阻害薬の現在地と問い：直腸癌術前化学放射線療法を題材に**

山下 公大（やました きみひろ）

神戸大学大学院医学系研究科　健康科学専攻　病態解析学講座　腫瘍分子病態学

S2-2　**食道癌術後のニボルマブ投与中に水疱性類天疱瘡を発症した一例と文献的考察**

小森 秀一（こもり しゅういち）[1)]、大熊 遼太朗[1,2)]、辛 和樹[3)]、大平 泰之[4)]、佐々木 里歌[1)]、村 英美子[1)]、鈴木 梨沙子[1)]、鶴井 敏光[1)]、吉澤 孝浩[1)]、池田 剛[1)]、下川 雅弘[1)]、有泉 裕嗣[1)]、小島 康幸[1,2,5)]、久保田 祐太郎[1,2)]、矢持 淑子[4)]、和田 聡[1,6)]、吉村 清[1,7)]、角田 卓也[1,2)]、堀池 篤[1)]

[1)]昭和医科大学医学部内科学講座腫瘍内科学部門
[2)]昭和医科大学統括がん情報センター
[3)]昭和医科大学医学部皮膚科学講座
[4)]昭和医科大学臨床病理診断学講座
[5)]昭和医科大学臨床ゲノム研究所
[6)]昭和医科大学臨床薬理研究所臨床腫瘍診断学部門
[7)]昭和医科大学臨床薬理研究所臨床免疫腫瘍学部門

S2-3　切除不能・進行食道扁平上皮癌一次化学療法における免疫チェックポイント阻害剤の使い分け

豊住 武司（とよずみ たけし）、中野 明、藏田 能裕、関野 伸史、木下 和也、佐々木 拓馬、早野 康一、松本 泰典、山口 有輝子、丸山 通広

千葉大学　大学院医学研究院　先端応用外科学

S2-4　多発性転移を伴う胃癌症例における免疫放射線治療の可能性について

三村 耕作（みむら こうさく）[1)]、花山 寛之[1)]、佐瀬 善一郎[1)]、河野 浩二[1)]

[1)]福島県立医科大学　医学部　消化管外科学講座
[2)]福島県立医科大学　医学部　輸血・移植免疫学講座

S2-5　右側結腸癌における術前 CT によるリンパ節転移の過大診断と dMMR・粘液癌・全身性炎症の関連：傾向スコアマッチング解析

長谷川 誠（はせがわ まこと）、岡山 洋和、川又 崇弘、滝口 千晶、深井 智司、佐藤 孝洋、伊藤 美郷、氏家 大輔、千田 峻、門馬 智之、河野 浩二

福島県立医科大学　消化管外科学講座

S2-6　がん免疫療法獲得耐性固形がんに対する高食物繊維摂取下でのニボルマブ再投与の第 II 相試験（K-TAIL-203）

堀池 篤（ほりいけ あつし）[1)]、岡部 直行[2)]、田中 浩明[3)]、本多 通孝[4)]、村 英美子[1)]、鶴井 敏光[1)]、鈴木 梨沙子[1)]、石黒 智之[1)]、平澤 優弥[1)]、吉澤 孝浩[1)]、大熊 遼太朗[1,5)]、池田 剛[1)]、下川 雅弘[1)]、有泉 裕嗣[1)]、久保田 祐太郎[1)]、井上 永介[6)]、和田 聡[1,7)]、吉村 清[1,8)]、鈴木 弘行[2)]、角田 卓也[1,5)]

[1)]昭和医科大学医学部内科学講座腫瘍内科学部門
[2)]福島県立医科大学医学部呼吸器外科学講座
[3)]泉大津急性期メディカルセンター外科センター
[4)]総合南東北病院外科
[5)]昭和医科大学統括がん情報センター
[6)]昭和医科大学統括研究推進センター
[7)]昭和医科大学臨床薬理研究所臨床腫瘍診断学部門
[8)]昭和医科大学臨床薬理研究所臨床免疫腫瘍学部門

11月19日（木） 第2会場（郡山ビューホテル アネックス 3F 麓山）

9:00-9:32 一般演題1「消化器癌における新たな治療戦略」

座長：仲田 興平（九州大学病院 臨床・腫瘍外科）

O1-1 切除不能進行・再発胃癌に対するNivolumab併用1次化学療法における末梢血リンパ球数変化率の予後予測能

黒田 顕慈（くろだ けんじ）、三木 友一朗、関 由季、出口 惣大、笠島 裕明、渋谷 雅常、豊川 貴弘、前田 清

大阪公立大学大学院 消化器外科

O1-2 切除不能進行・再発胃癌症例に対するビロイ併用化学療法の治療成績

三木 友一朗（みき ゆういちろう）、吉井 真美、黒田 顕慈、関 由季、出口 惣太、笠島 裕明、田村 達郎、渋谷 雅常、豊川 貴弘、前田 清

大阪公立大学大学院 医学研究科 消化器外科学

O1-3 経口摂取不能進行大型4型胃癌に対する経鼻的経腸栄養チューブを用いた治療成績

大草 拓司（おおくさ たくじ）、早野 康一、松本 泰典、藏田 能裕、豊住 武司、中野 明、関野 伸史、山口 有輝子、木下 和也、大平 学、丸山 通広

千葉大学医学部附属病院 食道胃腸外科

O1-4 肝細胞がんに対するアテゾリズマブ+ベバシズマブ療法が長期間投与できた2症例

原口 大希（はらぐち だいき）、硲 彰一、藤井 敏之、北原 正博

周南記念病院 外科

9:37-10:09 一般演題2「肺癌免疫療法の実臨床と治療効果予測」

座長：堀池 篤（昭和医科大学医学部 内科学講座腫瘍内科学部門）

O2-1 非小細胞肺癌に対する免疫チェックポイント阻害薬の治療効果予測における栄養・免疫学的指標の前向き検証

竹之山 光広（たけのやま みつひろ）[1)]、高森 信吉[2)]、下川 元継[2)]、山口 正史[2)]、森 雅秀[3)]、沖 昌英[4)]、西村 好史[5)]、中富 克己[6)]、箭内 英俊[7)]、須甲 憲明[8)]、畠山 暢生[9)]、北 俊之[10)]

[1)]松山赤十字病院呼吸器センター
[2)]九州がんセンター
[3)]大阪刀根山医療センター
[4)]名古屋医療センター
[5)]東広島医療センター
[6)]嬉野医療センター
[7)]水戸医療センター
[8)]北海道医療センター
[9)]高知病院
[10)]金沢医療センター

O2-2 当院で免疫チェックポイント阻害剤による1次治療を開始した高齢切除不能・再発非小細胞肺癌症例の臨床的検討

長谷川 剛生（はせがわ たけお）[1)]、山口 光[1)]、鈴木 弘行[2)]

[1)]白河厚生総合病院 呼吸器外科
[2)]福島県立医科大学 呼吸器外科学講座

O2-3 当院における小細胞肺癌患者に対する免疫チェックポイント阻害薬の検討

山口 光（やまぐち ひかる）[1)]、長谷川 剛生[1)]、鈴木 弘行[2)]

[1)]白河厚生総合病院 呼吸器外科
[2)]福島県立医科大学 呼吸器外科学講座

O2-4　タルラタマブ長期奏効中に異時性肺扁平上皮癌を認めた進展型小細胞肺癌の 1 例

藤嶋 康祐（ふじしま こうすけ）[1)]、樋口 光徳[1)]、鈴木 弘行[2)]

[1)]福島県立医科大学会津医療センター　呼吸器外科
[2)]福島県立医科大学　呼吸器外科学講座

10：22-11：10　ワークショップ 1「免疫治療―Translational research―」

座長：塩崎 敦（京都府立医科大学大学院医学研究科　消化器外科学）
北野 滋久（公益財団法人　がん研究会有明病院　先端医療開発センター）

W1-1（基調講演）　がん免疫療法の効果を規定する腫瘍・宿主因子―トランスレーショナル研究による病態理解と治療最適化―

北野 滋久（きたの しげひさ）

公益財団法人　がん研究会有明病院　先端医療開発センター

W1-2　投与時刻は抗 PD-1 抗体の薬効と対照群の腫瘍増殖を規定する―時間依存的ストレス応答の可能性―

市原 咲歌（いちはら さきか）[1)]、倉増 敦朗[3)]、船山 英治[1,2)]、馬場 勇太[1,2)]、磯部 順哉[4)]、志田 みどり[3)]、和田 聡[5,6)]、角田 卓也[6)]、堀池 篤[6)]、小口 達敬[1,2)]、吉村 清[3,6)]

[1)]昭和医科大学　大学院　医学研究科　医科薬理学分野
[2)]昭和医科大学薬理科学研究センター
[3)]昭和医科大学臨床薬理研究所臨床免疫腫瘍学部門
[4)]昭和医科大学薬学部病院薬剤学講座
[5)]昭和医科大学臨床薬理研究所臨床腫瘍診断学部門
[6)]昭和医科大学医学部内科学講座腫瘍内科学部門

W1-3　MSI-H/TMB-H 副腎皮質がんに対する pembrolizumab 早期不応例の末梢血免疫プロファイル解析

大熊 遼太朗（おおくま りょうたろう）[1)]、三沢 彩[3,4)]、大西 伸幸[3,4)]、三上 貴浩[3,4)]、小森 秀一[1)]、佐々木 里歌[1)]、村 英美子[1)]、鈴木 梨沙子[1)]、鶴井 敏光[1)]、吉澤 孝浩[1)]、池田 剛[1)]、下川 雅弘[1)]、有泉 裕嗣[1)]、小島 康幸[1,2,5)]、久保田 祐太郎[1,2)]、吉村 清[1,6)]、矢持 淑子[7)]、小林 真一[4)]、角田 卓也[1,2)]、堀池 篤[1)]、和田 聡[1,3,7)]

[1)]昭和医科大学大学院　医学研究科　腫瘍内科学分野
[2)]昭和医科大学　統括がん情報センター
[3)]昭和医科大学　臨床薬理研究所　臨床腫瘍診断学部門
[4)]昭和医科大学　臨床薬理研究所
[5)]昭和医科大学　臨床ゲノム研究所
[6)]昭和医科大学　臨床薬理研究所　臨床免疫腫瘍学部門
[7)]昭和医科大学大学院　医学研究科　臨床病理診断学分野
[8)]昭和医科大学大学院医学研究科　医科薬理学分野

W1-4　食道胃接合部腺癌における癌関連遺伝子 YWHAZ の癌化機構の解明と臨床応用

山内 大輝（やまうち まさてる）、小松 周平、西別府 敬士、大橋 拓馬、宮前 眞人、渡邉 信之、西村 幸寿、今村 泰輔、木内 純、井上 博之、倉島 研人、久保 秀正、名西 健二、清水 浩紀、有田 智洋、小西 博貴、山本 有祐、森村 玲、藤原 斉、塩崎 敦

京都府立医科大学　消化器外科

11：30-12：10　一般演題 3「ICI 時代の集学的治療戦略」

座長：樋口 光徳（福島県立医科大学会津医療センター　呼吸器外科学講座）

O3-1　切除可能進行 NSCLC における術前 ICI と術後 ICI の予後比較、PD-L1 発現別での予後比較

伊藤 正興（いとう まさおき）[1)]、氏家 秀樹[2)]、市場 大貴[2)]、津谷 康大[2)]

[1)]和泉市立総合医療センター　呼吸器外科
[2)]近畿大学　外科学教室　呼吸器外科部門

O3-2　非小細胞肺癌術前免疫治療の治療成績と 18F-FDG-PET での病理学的効果予測の検討

渡部 晶之（わたなべ まさゆき）[1)]、橋本 理奈[1)]、西尾 樹奈[1)]、蛭田 知宏[1)]、遠田 晶生[1)]、丸谷 慶将[1)]、猪俣 頌[1,2)]、山口 光[1)]、峯 勇人[1)]、高木 玄教[1)]、尾崎 有紀[1)]、岡部 直行[1)]、鈴木 弘行[1)]

[1)]福島県立医科大学　呼吸器外科
[2)]福島県立医科大学　地域集学的がん治療学研究講座

O3-3　非切除進行再発肺癌に対して免疫チェックポイント阻害薬療法後に手術を行なった 3 例の経験

山浦 匠（やまうら たくみ）[1)]、鈴木 弘行[2)]

[1)]竹田綜合病院　呼吸器外科
[2)]福島県立医科大学　呼吸器外科学講座

O3-4　生殖細胞系列 *BRCA 1/2* 病的バリアントを有するトリプルネガティブ乳癌に対する免疫チェックポイント阻害薬併用術前療法の治療効果

橋本 万理（はしもと まり）[1)]、岡野 舞子[1,2)]、星 信大[1)]、野田 勝[1)]、立花 和之進[1)]、徳田 恵美[3)]、佐治 重衡[3)]、大竹 徹[1)]

[1)]福島県立医科大学　乳腺外科学講座
[2)]福島県立医科大学　遺伝診療部
[3)]福島県立医科大学　腫瘍内科学講座

O3-5　PD-L1 陽性の進行/再発トリプルネガティブ乳癌における放射線治療と Atezolizumab/nab-Paclitaxel 併用療法：第 2 相試験

鈴木 義行（すずき よしゆき）、伊藤 佑輔、梅宮 和真、吉本 由哉

福島県立医科大学　医学部　放射線腫瘍学講座

12：25-13：15　ランチョンセミナー 2「臨床試験から考察する周術期肺癌薬物療法戦略～術前術後 ICI の意義と KN671 レジメンのポジショニング～」

座長：大杉 純（総合南東北病院　副院長　呼吸器外科）

LS2-1　臨床試験から考察する周術期肺癌薬物療法戦略～術前術後 ICI の意義と KN671 レジメンのポジショニング～

河口 洋平（かわぐち ようへい）

国立がん研究センター中央病院　臨床研究支援部門

共催：MSD 株式会社

15：35-16：35　スポンサードシンポジウム 1「肺癌免疫療法の CQ と解決に向けた試み」

座長：尾崎 有紀（福島県立医科大学医学部　呼吸器外科学講座）

SS1-1　肺癌免疫療法の CQ と解決に向けた試み

渡部 聡（わたなべ さとし）

新潟大学大学院医歯保健学研究科　呼吸器・感染症内科学分野

共催：アストラゼネカ株式会社

16：40-17：20　一般演題 4「がん研究・診療を拓く新たなアプローチ」

座長：鈴木 義行（福島県立医科大学医学部　放射線腫瘍学講座）

O4-1　肺癌患者胸水中 TGF-β アイソフォームと CRP-to-albumin ratio との相関解析

沖田 理貴（おきた りき）[1,2)]

[1)]国立病院機構山口宇部医療センター　臨床研究部
[2)]国立病院機構山口宇部医療センター　外科

O4-2　細胞障害性 CD4 陽性 T 細胞の存在と ICI 治療効果の関連

成冨 里菜（なりとみ りな）[1)]、村岡 小雪[1)]、尾崎 有紀[2)]、龍福 雅恵[2)]、猪俣 頌[2)]、峯 勇人[2)]、渡部 晶之[2)]、岡部 直行[2)]、鈴木 弘行[2)]

[1)]福島県立医科大学医学部
[2)]福島県立医科大学呼吸器外科学講座

O4-3　乳癌における CK2 免疫染色の有用性

野水 整（のみず ただし）[1)]、岡野 舞子[2)]、本間 美和子[3)]

[1)]星総合病院　外科
[2)]福島県立医科大学　乳腺外科学講座
[3)]福島県立医科大学　生体物質研究部門

O4-4　オキサリプラチン誘発神経障害の時間的特徴：神経伝導検査と患者報告アウトカムによる縦断的解析

三井 範基（みつい のりき）、松本 圭太、横井 亮磨、村瀬 佑介、水谷 千佳、鷹尾 千佳、浅井 竜一、
田島 ジェシー雄、深田 真宏、安福 至、佐藤 悠太、田中 善宏、松橋 延壽
岐阜大学医学部附属病院　消化器外科

O4-5　AI agent 型ワークフローを設計・実装した動画による論文紹介 AI について―昭和医科大学統括がん情報センターから―

角田 卓也（つのだ たくや）[1)]、村上 幸三[1)]、大熊 遼太朗[1,2)]、久保田 祐太郎[1,2)]、小島 康幸[2)]、堀池 篤[2)]
[1)]昭和医科大学統括がん情報センター
[2)]昭和医科大学医学部腫瘍内科

11月20日（金） 第1会場（郡山ビューホテル アネックス 3F 雲水峰）

8:30-9:10 一般演題5「腫瘍微小環境と抗腫瘍免疫」

座長：三村 耕作（福島県立医科大学医学部 消化管外科学講座）

O5-1 HER2陽性胃癌におけるHER2シグナルと腫瘍免疫微小環境の関連解析

望月 翔太朗（もちづき しょうたろう）、中嶋 正太郎、長谷川 誠、光井 大、岡山 洋和、佐瀬 善一郎、門馬 智之、三村 耕作、河野 浩二

福島県立医科大学 医学部 消化管外科学講座

O5-2 進行胃がんに対する化学療法後の腫瘍免疫微小環境の臨床的意義

光井 大（みつい だい）、三村 耕作、長谷川 誠、望月 翔太朗、中嶋 正太郎、岡山 洋和、佐瀬 善一郎、門馬 智之、河野 浩二

福島県立医科大学付属病院 消化管外科学講座

O5-3 肺腺癌および腎細胞癌の骨・脊椎転移巣における腫瘍微小環境の比較

金内 洋一（かねうち よういち）、松本 嘉寛

福島県立医科大学医学部 整形外科

O5-4 トリプルネガティブ乳癌に特徴的なVVL結合性glycocalyxと腫瘍微小環境における糖鎖リモデリング

杉山 恵みり（すぎやま えみり）[1)]、富田 弘之[2)]、遠藤 真英[1,2)]、坂野 慎哉[1)]、松本 圭太[1)]、林 弘賢[1)]、深田 真宏[1)]、佐藤 悠太[1)]、浅井 竜一[1)]、安福 至[1)]、田島 ジェシー雄[1)]、田中 善宏[1)]、二村 学[1)]、松橋 延壽[1)]

[1)]岐阜大学医学部附属病院 腫瘍外科
[2)]岐阜大学医学部附属病院 腫瘍病理

O5-5 マウスモデルにおける抗PD-1抗体投与後の脾臓および腫瘍浸潤リンパ球のPD-1受容体占拠率の経時的解析

鶴井 敏光（つるい としあき）[1)]、細沼 雅弘[1,2,3)]、船山 英治[2,3)]、志田 みどり[2)]、小森 秀一[1)]、佐々木 里歌[1)]、村 英美子[4)]、鈴木 梨沙子[4)]、大熊 遼太朗[1,5)]、吉澤 孝浩[1)]、池田 剛[1)]、下川 雅弘[1)]、有泉 裕嗣[1)]、久保田 祐太郎[4,5)]、和田 聡[1,6)]、倉増 敦朗[2,3)]、角田 卓也[1,5)]、堀池 篤[1)]、吉村 清[1,2)]

[1)]昭和医科大学大学院 医学研究科 腫瘍内科学分野
[2)]昭和医科大学 臨床薬理研究所 臨床免疫腫瘍学部門
[3)]昭和医科大学大学院 医学研究科 医科薬理学分野
[4)]昭和医科大学 横浜市北部病院 内科
[5)]昭和医科大学 統括がん情報センター
[6)]昭和医科大学 臨床薬理研究所 臨床腫瘍診断学部門

9:20-10:30 特別講演2

座長：尾崎 有紀（福島県立医科大学医学部 呼吸器外科学講座）

SL2 Unleashing the anti-tumor potential of B cells and tertiary lymphoid structures for new immunotherapeutic strategies

Tullia C. Bruno
University of Pittsburgh

10:35-11:07 一般演題6「免疫療法に伴うirAEとそのマネジメント」

座長：濱西 潤三（京都医療センター 産婦人科）

O6-1 免疫チェックポイント阻害薬投与中にレボチロキシン投与で増悪した副腎不全の1例

井上 卓哉（いのうえ たくや）[1)]、塩 豊[2)]

[1)]会津中央病院 呼吸器科
[2)]福島赤十字病院 呼吸器外科

O6-2　術前化学免疫療法及び肺切除の 5 ヶ月後に遅発性副腎不全と 1 型糖尿病を同時に発症した一例

福原 光朗（ふくはら みつろう）[1)]、鈴木 弘行[2)]
[1)]いわき市医療センター　呼吸器外科
[2)]福島県立医科大学呼吸器外科学講座

O6-3　胸腺腫合併肺癌に免疫チェックポイント阻害薬投与後に筋炎・重症筋無力症を発症し心肺停止を来した 1 例

松本 博人（まつもと ひろと）、大杉 純、藤生 浩一、比佐 奨
一般財団法人　脳神経疾患研究所　所属　総合南東北病院

O6-4　アテゾリズマブ併用化学療法後に ICI 関連劇症型心筋炎を発症し、集学的治療に抵抗性を示した胸腺癌の 1 病理解剖例

吉澤 孝浩（よしざわ たかひろ）[1)]、小森 秀一[1)]、佐々木 里歌[1)]、鶴井 敏光[1)]、大熊 遼太朗[1,2)]、池田 剛[1)]、下川 雅弘[1)]、有泉 裕嗣[1)]、関本 輝雄[3)]、五十嵐 友美[4)]、阿部 智一[4)]、齋藤 友広[5)]、大平 泰之[6)]、松山 高明[7)]、小島 康幸[1,2,8)]、和田 聡[1,9)]、吉村 清[1,10)]、角田 卓也[1,2)]、堀池 篤[1)]
[1)]昭和医科大学　腫瘍内科
[2)]同　統括がん情報センター
[3)]同　循環器内科
[4)]同　集中治療科
[5)]同　腎臓内科
[6)]同　臨床病理診断学
[7)]同　医学部　法医学講座
[8)]同　臨床ゲノム研究所
[9)]同　臨床薬理研究所　臨床腫瘍診断学
[10)]同　臨床免疫腫瘍学

11：20-12：20　スポンサードシンポジウム 2「EGFR 遺伝子変異陽性非小細胞肺癌　最新の話題」

座長：大杉 純（総合南東北病院　呼吸器外科）

SS2-1　EGFR/MET 標的治療による腫瘍内不均一性の克服

毛利 篤人（もうり あつと）
埼玉医科大学国際医療センター　呼吸器内科

共催：ヤンセンファーマ株式会社

12：30-13：20　ランチョンセミナー 3「変わりゆくがん遺伝子パネル検査の活用法」

座長：前田 清（大阪公立大学大学院　消化器外科）

LS3-1　変わりゆくがん遺伝子パネル検査の活用法

齋藤 元伸（さいとう もとのぶ）
福島県立医科大学附属病院　がんゲノム医療診療部

共催：中外製薬株式会社

14：00-14：43　シンポジウム 3「細胞療法と次世代のバイオセラピィ」

座長：吉村 清（昭和医科大学臨床薬理研究所　臨床免疫腫瘍学講座）
廣橋 良彦（札幌医科大学医学部　病理学第一講座）

S3-1（基調講演）　上皮由来悪性腫瘍の内因性免疫逃避メカニズム

廣橋 良彦（ひろはし よしひこ）、久保 輝文
札幌医科大学医学部病理学講座病態究理病理学分野

S3-2　治療 T 細胞の脳内デリバリー制御による脳腫瘍免疫療法の高機能化

濱田 源実（はまだ もとちか）、小口 武琉、安永 正浩
国立がん研究センター先端医療開発センター新薬開発分野

S3-3　当院で施行したネオアンチゲン樹状細胞ワクチン治療の有効性の検証　第 1 報

大西 秀哉（おおにし ひでや）[1,2]

[1]大阪がんプレシジョン免疫治療クリニック
[2]九州大学病院　胆道・膵臓・膵臓移植・腎臓移植外科

14：50-15：38　ワークショップ 2「免疫療法におけるバイオマーカー最前線」

座長：渡部 晶之（福島県立医科大学医学部　呼吸器外科学講座）
岡山 洋和（福島県立医科大学医学部　消化管外科学講座）

W2-1（基調講演）　腫瘍微小環境・糖鎖・ゲノムに基づく大腸癌免疫療法の個別化に向けたバイオマーカー探索

岡山 洋和（おかやま ひろかず）、鈴木 博也、林下 宗平、片方 雅紀、伊藤 美郷、中嶋 正太郎、坂本 渉、齋藤 元伸、門馬 智之、三村 耕作、河野 浩二

福島県立医科大学　消化管外科学講座

W2-2　大腸癌患者血清における CD9・CD147 および CD9・CD63 二重陽性細胞外小胞の術後変化：腫瘍関連バイオマーカーの探索

安達 祐里（あだち ゆかり）[1]、犬伏 祥子[3]、安藤 正恭[2]、杉田 裕[2]、池田 太郎[2]、小寺澤 康文[2]、青木 丈明[2]、原田 仁[2]、音羽 泰則[2]、裏川 直樹[2]、後藤 裕信[2]、長谷川 寛[2]、金治 新悟[2]、山下 公大[4]、Hoffman M. Hoffman[5,6]、松田 武[2]

[1]大阪府済生会中津病院　外科
[2]神戸大学大学院医学研究科　食道胃腸外科
[3]神戸大学大学院医学研究科　乳腺内分泌外科
[4]神戸大学大学院保健学研究科　病態解析学分析医科学分野
[5]AntiCancer Inc, San Diego, CA, U.S.A.
[6]Department of Surgery, University of California San Diego, La Jolla, CA, U.S.A.

W2-3　大腸癌微小環境における RUNX1-Periostin 軸と Periostin 陽性線維芽細胞の免疫学的意義

村本 圭史（むらもと けいじ）[1]、三宅 亨[1]、谷 総一郎[1]、小島 正継[1]、森 治樹[1]、前平 博充[1]、竹林 克士[1]、貝田 佐知子[1]、清水 智治[2]

[1]滋賀医科大学　消化器・一般外科学講座
[2]滋賀医科大学医学部附属病院　医療安全管理部

W2-4　キチンオリゴ糖の経口投与による抗腫瘍作用の臨床研究

韓 啓司（かん けいじ）

医療法人社団大同会　恵クリニック